



英文法こそ大人の武器

中高生・大学生・社会人など幅広い層を対象とするオンライン予備校で大人気のカリスマ講師に英語習得のコツを聞いた。

英語学習／TOEIC 対策 有限会社ストリームライナー
代表 関 正生さん

話せなくても生きていける

——丸暗記によらない英語指導が好評です。

正論や情報の垂れ流しをしないようにしています。ただ「がんばれ!」「全力を尽くせ!」「覚えろ!」だけではダメなんです。大切なのは「ここを理解すれば覚えられるよ」、「こういう背景があるからこうなるんだよ」というロジックです。「納得感が得られる授業」を心がけています。学校の授業が終わってさらに勉強するのって体力的にも経済的にもきついですよね。だからこそ、独学では身につかない、ここにしかないものを提供しなければならないと考えています。

——日本人はなぜ英語ができないのでしょうか。

よく日本人はミスを恐れて話さないと言われますが、そもそもそれ以前に「英語を話す環境にいない」「話せなくても生きていける」。だから、「ミスを恐れて」ではなく、実は「英語が出てこない」のが現状ではないのでしょうか。最近、外国人の店員さんがたくさんいますが、リョウチャウ流暢でなくても日本語を使って接客しています。大げさですが彼らは、日本語が使えないと生きていけないという環境にいるから上達するんです。

ネイティブに溶け込もうとしても

——ネイティブとの文化の違いも大きいのでは。

アメリカ人は「週末何してた?」って聞いてきますが、普通の日本人は言わないですよね。聞かれたとしても「別に」としか答えない。日本語ではこんな調子なのに、英語になったとたん急に明るく楽しい雑談の世界が広がるなんてありえない(笑)。

だから、頭を切り替える必要があるし、「ものの考え方」を含めた「習慣」や「文化」を知ること大事なことだと思っています。

——宗教による発想の違いはどうでしょう。

“Oh My God!”は、実は若者とか教養のない人が使う表現で、普通はぼかして“Oh My Gosh!”あるいは“Oh My!”と言います。「神様」を口にするとなんて恐れ多いと。日本人がビジネスの場で“Oh My God!”なんて軽々しく使うべきではありません。日本の映画を見た外国人が「おひかえなすって」って挨拶するのと同じだからです。宗教に根差した言語や文化はたくさんあります。「宗教」という視点をもつことも日本人が英語を学習する上で1つのポイントになるのではないのでしょうか。

——英語は幼児の頃から始めた方がいいですか。

私は英語の早期教育には反対です。子どもが“Good morning, ma'am”とか英語を話せば、お母さんは喜びます。でも、お遊びで上っ面だけ飾りみたいにやらせても、何も身につけません。それよりまず大事なのは、日本語で筋道を